



学校だより

2025年度10月号

藤沢市立大越小学校

校長 丸谷 英之

教育目標 心豊かで思いやりがあり、たくましく生きる児童の育成

「やさしく かしこく たくましく」

日ごとに秋の深まりを感じる季節となりました。朝夕の空気にはひんやりとした風が混じり、校庭の木々も少しずつ色づき始めています。子どもたちは、秋の自然に触れながら、元気に学校生活を送っています。

さて、去る9月28日（日）から29日（月）は、6年生が日光への修学旅行に出かけました。歴史ある建造物、雄大な自然の美しさを前に目を輝かせ、仲間とともに過ごした時間は、かけがえのない思い出となったことでしょう。自分たちで考え、協力しながら行動する姿に、最高学年としての成長を感じました。

また、11月1日に予定されている運動会に向けて、全校での練習が始まりました。どの学年も、力を合わせて頑張ろうとする気持ちがあふれており、運動場には子どもたちの元気な声が響いています。当日に向けて、練習にも力が入ってくると思います。保護者の皆さまにも、温かいご声援そして、体調管理をよろしくお願いいたします。

秋は学びの季節でもあります。実り多き日々となるよう、引き続き子どもたちを支えてまいります。

■9/28～29 6年 日光修学旅行



■5年家庭科ミシン学習



■4年起震車体験



■おっこし級調理実習



■ 1年体育：ボール遊び



■ 2年音楽：鍵盤ハーモニカ



■ 3年：市内巡り



◇ 9月朝会より ～桜の木とともに…55年のあゆみ～

（校長の話一部抜粋）開校より毎年行ってきた運動会は今年で55回目。

みんなが毎日すごしているこの学校には、たくさんの歴史があります。

その中でも、学校をぐるっと囲む桜は、開校したころから、ずっとずっとこの場所を見守ってきてくれました。春に、桜の花がきれいに咲いていたのを覚えていますか？

ところが、その桜の多くが、寿命を迎えようとしています。

実は、開校当初には約50本もあった桜の木が、だんだんと弱ってしまい、倒れるとあぶないため、切り倒されています。



■ 数年前の写真（正門入口の桜のトンネル） 現在は数本のみ

大きな事故につながる前に、みんなの命を守るために、危ない樹を切っていく必要があります。ただ、美しかった景色が、切り株ばかりになってしまうのは、ちょっとさみしい気持ちになりますよね。

でも、ここで大切なのは、「どうしよう」ではなく、「これから、どうしたいか」です。

たとえば、新しい木を植えること…

お金がかかるので、今までと同じような本数を植えるのは難しいかもしれないけれど、例えば、「この場所は、花を植えていく」「例えば、この場所には桜の木を植えて未来のシンボルツリーにしていく」・・・等など

いまはまだ良い案が校長先生もないのだけど、未来につながる取組について、大越小のみんなと地域の人と一緒に考え、できることをしていけたら素敵だなと思います。



■数年前の写真（校庭） 8割位残っているが、寿命を迎えている樹が多い

55周年は、「これまでありがとう」と言うとともに、「これからどうする？」を考えるチャンスです。

こんな取組ができるかもということが分かったら、またみんなにお知らせするかもしれません。

まずは、今年も55回目の運動会を見守ってくれる桜の木のもとで、本番力を発揮できるよう、力を出し切って良かったと思える運動会になるよう、練習を重ねていきましょう！